

お天気解説 アキラのズバツと

暑くなかった6月

令和8年7月3日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

昨日（7月2日）は「半夏生」。暑い季節への変わり目でタコを食べると夏バテを防げるそうですが、いかがでしょうか？でも、この6月は暑い日がほとんどありませんでした。

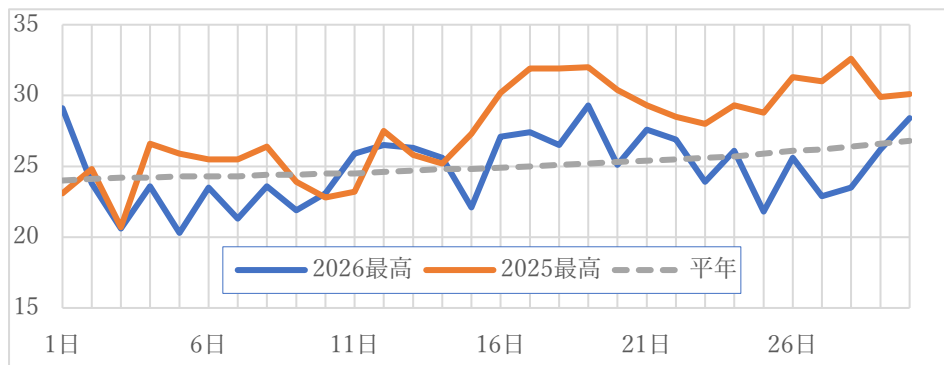


図1 昨年と今年の6月の最高気温の変化(江戸川臨海)

この6月だけは暑い日が少なく、江戸川臨海では最高気温が30℃以上の真夏日の日数が、昨年は9日あったのに対して今年は0日です。今年6月の平均気温はほぼ平年並みで、かなり高かった昨年と比べるとずいぶんちがいます。でも、暑くなるのはこれからでしょうね。

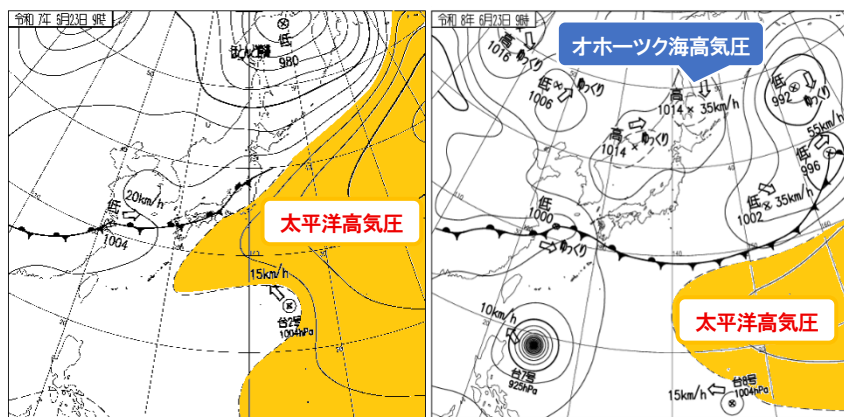


図2 6月23日09時の天気図(㊦2025年と㊦2026年の比較)

さて、昨夏は最高気温が40℃以上になった地点が全国で10箇所を超え、気象庁は今年から最高気温が40℃以上になった日を「酷暑日」とよぶことに決めました。ところが、

6月が涼しかった原因は、暑さをもたらす太平洋高気圧が予報ほど強くなかったことと、冷たい空気を送るオホーツク海高気圧が強いことで、梅雨前線が関東地方よりも南にあるからです。梅雨前線が本州付近から姿を消すと梅雨が明けます。

2026年07月03日11時 気象庁 発表				
日付	今日 03日(金)	明日 04日(土)	明後日 05日(日)	
東京地方	曇 	曇 	曇一時雨 	
降水確率(%)	-/-/30/30	10/10/20/20	50	
信頼度	-	-	-	
東京 気温 (℃)	最高	25	27 (24~29)	
	最低	-	21 (20~23)	

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

土曜日は雲が多く、日曜日はまったくずれる方向のようです。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。